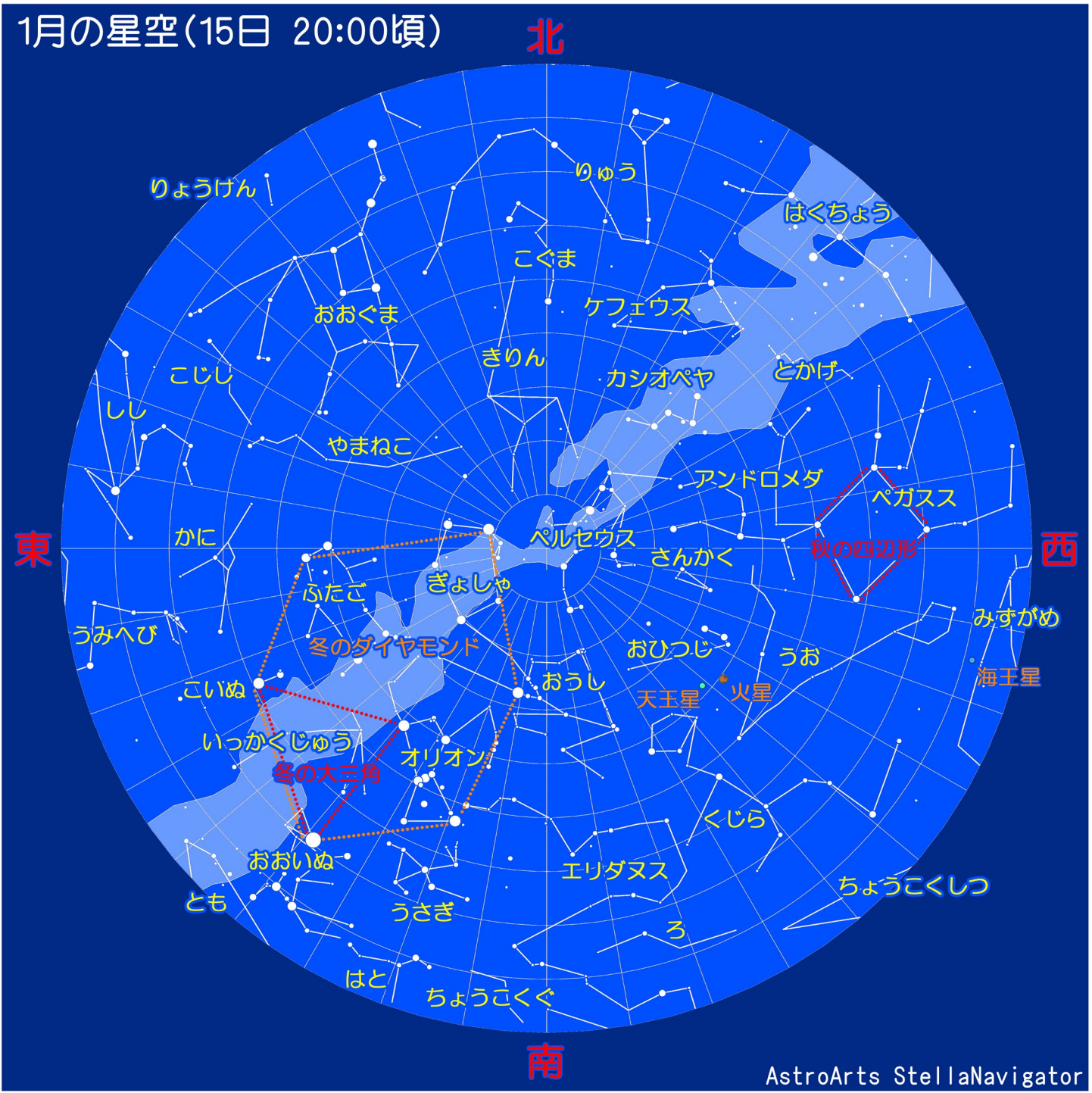


銀河の森天文台
2021年1月みどころ天体情報



今日のイチオシ！
★M1 (超新星残骸)

おうし座に位置する超新星残骸で、フィラメント構造がかにの足に見えることから「かに星雲」と呼ばれています。「かに星雲」の元になった超新星爆発は1054年に出現し、日本では「明月記」にその記録が残されています。爆発した星は中性子星として残っており、約1/30秒周期で電波やX線を出す、パルサーとして知られています。眼視では、ぼんやりした佐渡島のような形の中に、かすかなフィラメント構造を見ることができます。



距離：約7200光
M1

月

出 没

6日 下弦 23:49 11:13
13日 新月 07:00 16:02
21日 上弦 10:55 ---:--
29日 満月 16:47 07:18
天文台から月を見ることができるのは15～30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

火星

最接近の頃と比べるとの見かけの直径は半分以下になってしまいましたが、まだまだ火星が宵の空で赤く輝いています。

遠ざかっていく火星を送りましょう

太陽からの距離：約2億2790万km

天王星

太陽系の外側から2番目の惑星、天王星がおひつじ座に見えています。淡いグリーン色が特徴で、小さく見えますが、直径は地球の約4倍もあります。自転軸がほぼ横倒しになっているのも大きな特徴です。

太陽からの距離：約29億km

M42 (散光星雲)

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの4つの星(トラペジウム)が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

M37 (散開星団)

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

NGC2392 (惑星状星雲)

ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」と呼ばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ愛称の由来となったフードのような構造も見えてきます。

距離：約1360光年

うさぎ座R星 (恒星)

クリムゾンスターと呼ばれ、非常に赤い色をしています。

この星は炭素を多く含んでいる炭素星で、そのために通常の星よりも赤く輝いています。

距離：約817光年

ちょっとマニア

火星と天王星の接近

火星と天王星が、1月の空で大接近します。最接近は20日頃で、15cm双眼鏡で同一視野に見ることができます。21日は火星と天王星の横に、上弦の月が並びます。

その他おすすめ

- M35 (散開星団)
- M45 (散開星団)
- NGC1514 (惑星状星雲)
- NGC1535 (惑星状星雲)
- アルマク (重星)
- かに座ι星 (重星)

1・2月の銀河の森天文台カレンダー

1月

2月

日
月
火
水
木
金
土

3
4
5
6
7
8
9

10
11
12
13
14
15
16

17
18
19
20
21
22
23

24
31
25
26
27
28
29
30

日
月
火
水
木
金
土

7
8
9
10
11
12
13

14
15
16
17
18
19
20

21
22
23
24
25
26
27

28

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)

13:00～21:30
(10月～3月)

休館日